

(トヨタ モーター クレジット) トヨタグループ世界債券ファンド (年2回分配型)

運用報告書(全体版)

第33期 (決算日2023年12月20日)

作成対象期間 (2023年6月21日～2023年12月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2007年7月6日から2025年6月20日までです。	
運用方針	トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) への投資を通じて、主として国内外のトヨタグループ企業*が発行する債券 (MTN (ミディアム・ターム・ノート)、普通社債等) に実質的に投資し、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ※トヨタグループ企業とは、トヨタ自動車株式会社ならびに同社の国内外の連結子会社および持分法適用関連会社をいいます。	
主な投資対象	(トヨタ モーター クレジット) トヨタグループ世界債券ファンド (年2回分配型)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	国内外のトヨタグループ企業が発行する債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	(トヨタ モーター クレジット) トヨタグループ世界債券ファンド (年2回分配型)	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税込配分	期騰落率	期騰落率	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
29期(2021年12月20日)	10,458	50	△1.7	126.87	△1.3	96.8	—	6,196
30期(2022年6月20日)	10,898	50	4.7	135.54	6.8	95.3	—	6,502
31期(2022年12月20日)	10,616	50	△2.1	133.01	△1.9	96.6	—	6,550
32期(2023年6月20日)	11,468	50	8.5	143.13	7.6	96.4	—	6,495
33期(2023年12月20日)	11,969	50	4.8	150.01	4.8	95.6	—	7,024

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス(3-5年)を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。なお、設定日の応当日を100として指数化しています。
* FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	中率		
(期首) 2023年6月20日	円 11,468	% —	% —	143.13	—	96.4	—
6月末	11,540	0.6	0.7	144.20	0.7	96.4	—
7月末	11,382	△0.7	△0.9	141.91	△0.9	96.2	—
8月末	11,650	1.6	1.8	145.67	1.8	97.1	—
9月末	11,601	1.2	1.8	145.68	1.8	96.9	—
10月末	11,514	0.4	1.6	145.37	1.6	97.4	—
11月末	11,948	4.2	4.7	149.84	4.7	96.7	—
(期末) 2023年12月20日	12,019	4.8	4.8	150.01	4.8	95.6	—

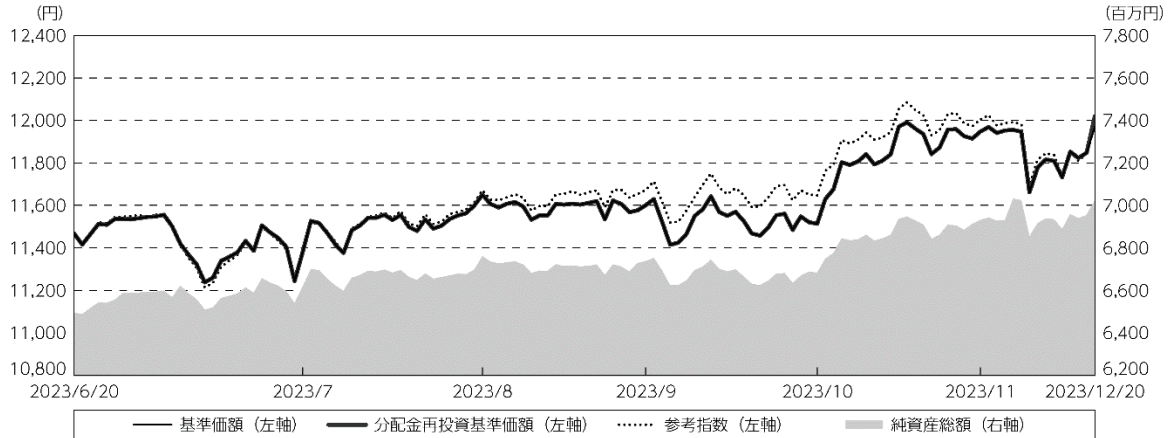
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：11,468円

期末：11,969円(既払分配金(税込み)：50円)

騰落率： 4.8%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年6月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス(3-5年)を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。参考指数は、作成期首(2023年6月20日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) ・ 投資通貨である米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドルが対円で上昇(円安)したこと。
- ・ 保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)。
 - ・ 国債利回りの低下に伴うキャピタルゲイン(値上がり益)。
 - ・ 保有する債券の対国債スプレッド(利回り格差)縮小に伴うキャピタルゲイン。

○投資環境

通貨については、日銀が緩和的な金融政策スタンスを維持する一方で、各国中央銀行による金融引き締め継続が市場の一部で意識されたことなどから、11月にかけて米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して上昇しました。その後は、各国中央銀行による利下げ観測が強まったことなどから円に対して下落(円高)する局面もあったものの、当作成期首からみると対円で上昇しました。カナダドルについても、カナダの中央銀行による追加利上げが意識されたことなどから、円に対して上昇しました。豪ドルについては、RBA(豪州準備銀行)が利上げを実施したことなどを背景に、11月にかけて円に対して上昇したものの、その後は追加利上げ観測が後退したことなどから円に対して下落し、当作成期首からみると対円で下落となりました。

債券市場では、複数の経済指標から米景気の底堅さが意識され、FRB(米連邦準備制度理事会)による金融引き締めへの市場の懸念が強まったことなどから、10月にかけて米国債利回りは上昇(価格は下落)しました。その後、米国の物価関連指標がインフレ率の鈍化を示したことや、FRBが2024年の利下げ開始を示唆したことなどを背景に米国債利回りは低下しましたが、当作成期を通してみると米国債利回りは上昇しました。

独国債利回りについては、当作成期末にかけてインフレ率が鈍化し、ECB(欧州中央銀行)の利下げ観測が強まったことなどから低下しました。

保有するトヨタグループ企業の債券については、米国でインフレ率の鈍化が確認されたことや、FRBが2024年の利下げ開始を示唆したことなどを背景に、対国債スプレッドは縮小しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド]

組入通貨について

設定時において選定した5カ国の通貨(米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル)に原則として均等投資いたしました。

組入債券の資産配分について

追加的な資金の流入に応じてトヨタグループ企業の債券を売買し、債券組入比率を高位に維持しながら、ポートフォリオの債券はすべてトヨタグループ企業の債券としました。

組入債券の信用格付け配分について

当作成期を通じてA格以上の格付けを持つ債券を保有しました。

[(トヨタ モーター クレジット) トヨタグループ世界債券ファンド (年2回分配型)]

追加的な資金の流出入に応じて、主要投資対象である [トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド] 受益証券の組み入れを高位に維持し、[トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド] の投資成果を享受するよう努めました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

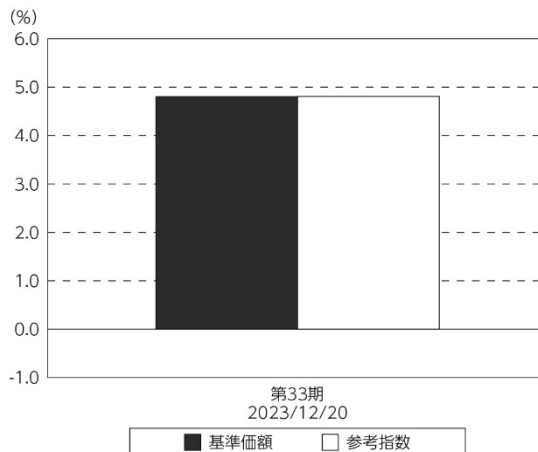
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が4.81%の上昇となったのに対し、基準価額は4.80%* 上昇しました。

* 基準価額の騰落率は分配金込みです。

差異の要因については、保有する債券の対国債スプレッドが縮小したことなどがプラス要因となる一方、信託報酬などの効果がマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス(3-5年)を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、次表の通りとさせていただきます。
なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第33期
	2023年6月21日～ 2023年12月20日
当期分配金	50
(対基準価額比率)	0.416%
当期の収益	50
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,876

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド]

引き続きトヨタグループ企業の債券を中心としたポートフォリオ構成とします。投資にあたっては、発行体の信用状況や同一通貨建ての国債とのスプレッド等を考慮します。また、流動性リスクに配慮し、ポートフォリオの一部に国債を組み入れる場合があります。

組入通貨については、設定時に選定した5カ国の通貨に均等投資します。通貨比率の調整のために為替予約取引を活用します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは3～5年程度を維持します。デュレーション調整のために、債券先物を利用する場合があります。

[(トヨタ モーター クレジット) トヨタグループ世界債券ファンド (年2回分配型)]

主要投資対象である[トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド]受益証券の高位組入比率を維持し、[トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド]の投資成果を享受するよう努めます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年6月21日～2023年12月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 63	% 0.539	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.248)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(32)	(0.275)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	64	0.545	
期中の平均基準価額は、11,605円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

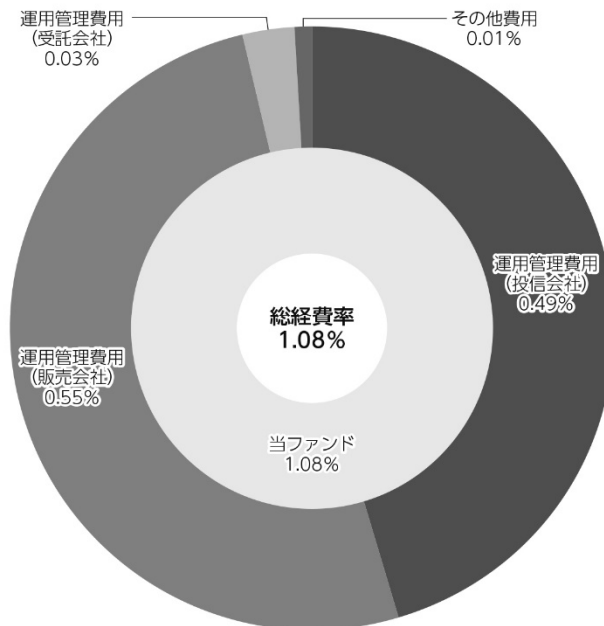
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月21日～2023年12月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド	千口 255,034	千円 414,200	千口 147,820	千円 240,600

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月21日～2023年12月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド	千口 4,052,238	千口 4,159,452	千円 7,010,756

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年12月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド	千円 7,010,756	% 98.8
コール・ローン等、その他	82,346	1.2
投資信託財産総額	7,093,102	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,795,844千円)の投資信託財産総額(8,092,068千円)に対する比率は96.3%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=144.03円、1カナダドル=107.94円、1英ポンド=183.28円、1ユーロ=158.07円、1豪ドル=97.26円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,093,102,513
コール・ローン等	80,445,603
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド(評価額)	7,010,756,910
未収入金	1,900,000
(B) 負債	68,436,356
未払収益分配金	29,345,635
未払解約金	2,724,132
未払信託報酬	36,292,556
未払利息	25
その他未払費用	74,008
(C) 純資産総額(A-B)	7,024,666,157
元本	5,869,127,181
次期繰越損益金	1,155,538,976
(D) 受益権総口数	5,869,127,181口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,969円

(注) 期首元本額は5,663,595,182円、期中追加設定元本額は408,336,801円、期中一部解約元本額は202,804,802円、1口当たり純資産額は1,1969円です。

○損益の状況 (2023年6月21日～2023年12月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 5,766
支払利息	△ 5,766
(B) 有価証券売買損益	351,914,350
売買益	357,339,612
売買損	△ 5,425,262
(C) 信託報酬等	△ 36,366,564
(D) 当期損益金(A+B+C)	315,542,020
(E) 前期繰越損益金	803,427,859
(F) 追加信託差損益金	65,914,732
(配当等相当額)	(1,185,244,238)
(売買損益相当額)	(△1,119,329,506)
(G) 計(D+E+F)	1,184,884,611
(H) 収益分配金	△ 29,345,635
次期繰越損益金(G+H)	1,155,538,976
追加信託差損益金	65,914,732
(配当等相当額)	(1,185,732,196)
(売買損益相当額)	(△1,119,817,464)
分配準備積立金	1,089,624,244

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 *損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 *損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2023年6月21日～2023年12月20日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年6月21日～ 2023年12月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	76,503,019円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	239,039,001円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,185,732,196円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	803,427,859円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,304,702,075円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,926円
g. 分配金	29,345,635円
h. 分配金(1万口当たり)	50円

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	50円
------------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド

運用報告書

第17期（決算日2023年12月20日）

作成対象期間（2022年12月21日～2023年12月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として国内外のトヨタグループ企業*が発行する債券（MTN（ミディアム・ターム・ノート）、普通社債等）に投資し、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。投資を行なう債券は、原則としてA格以上の格付けを有する信用度の高いものとします。（格付けのない場合には、委託者が同等の信用度を有すると判断したものを含みます。） ※トヨタグループ企業とは、トヨタ自動車株式会社ならびに同社の国内外の連結子会社および持分法適用関連会社をいいます。
主な投資対象	国内外のトヨタグループ企業が発行する債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
13期(2019年12月20日)	12,930	2.9	117.50	0.5	98.0	—	7,657
14期(2020年12月21日)	13,457	4.1	121.12	3.1	97.4	—	7,811
15期(2021年12月20日)	14,162	5.2	126.87	4.7	97.0	—	8,090
16期(2022年12月20日)	14,665	3.6	133.01	4.8	96.8	—	8,385
17期(2023年12月20日)	16,855	14.9	150.01	12.8	95.8	—	8,005

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス(3-5年)を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。なお、設定日の応当日を100として指数化しています。
*FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

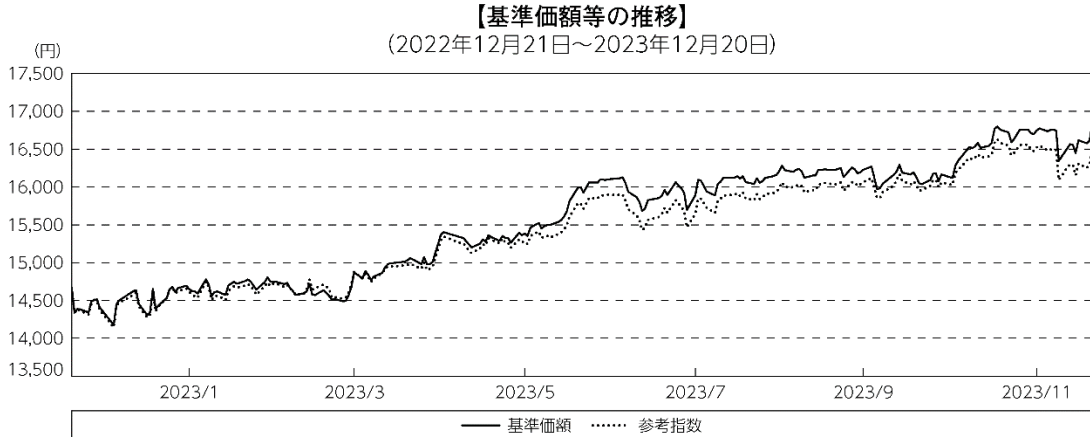
年月日	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2022年12月20日	円	%		%	%	%
	14,665	—	133.01	—	96.8	—
12月末	14,406	△ 1.8	130.37	△ 2.0	96.5	—
2023年1月末	14,650	△ 0.1	132.58	△ 0.3	96.5	—
2月末	14,807	1.0	133.67	0.5	97.8	—
3月末	14,867	1.4	134.97	1.5	96.6	—
4月末	15,006	2.3	135.54	1.9	97.1	—
5月末	15,384	4.9	138.57	4.2	96.7	—
6月末	16,101	9.8	144.20	8.4	96.6	—
7月末	15,892	8.4	141.91	6.7	96.4	—
8月末	16,282	11.0	145.67	9.5	97.3	—
9月末	16,227	10.7	145.68	9.5	97.1	—
10月末	16,121	9.9	145.37	9.3	97.6	—
11月末	16,744	14.2	149.84	12.7	96.9	—
(期末) 2023年12月20日	円	%		%	%	%
	16,855	14.9	150.01	12.8	95.8	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス(3-5年)を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) ・ 投資通貨である米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドルが対円で上昇(円安)したこと。
 ・ 保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)。
 ・ 保有する債券の対国債スプレッド(利回り格差)縮小に伴うキャピタルゲイン(値上がり益)。
- (下落) ・ 国債利回りの上昇に伴うキャピタルロス(値下がり損)

○当ファンドのポートフォリオ

組入通貨について

設定時において選定した5カ国の通貨(米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル)に原則として均等投資いたしました。

組入債券の資産配分について

追加的な資金の流入に応じてトヨタグループ企業の債券を売買し、債券組入比率を高位に維持しながら、ポートフォリオの債券はすべてトヨタグループ企業の債券としました。

組入債券の信用格付け配分について

期を通じてA格以上の格付けを持つ債券を中心に保有しました。

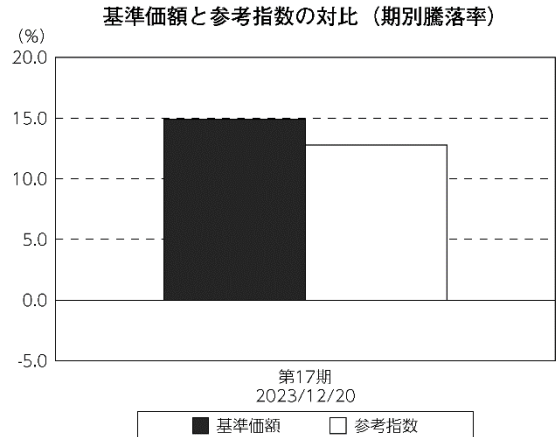
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が12.78%の上昇となったのに対し、基準価額は14.93%上昇しました。

差異の要因については、保有する債券の対国債スプレッドが縮小したことなどがプラス要因となりました。



(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3～5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。

◎今後の運用方針

引き続きトヨタグループ企業の債券を中心としたポートフォリオ構成とします。投資にあたっては、発行体の信用状況や同一通貨建ての国債とのスプレッド等を考慮します。また、流動性リスクに配慮し、ポートフォリオの一部に国債を組み入れる場合があります。

組入通貨については、設定時に選定した5カ国の通貨に均等投資します。通貨比率の調整のために為替予約取引を活用します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは3～5年程度を維持します。デュレーション調整のために、債券先物を利用する場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2022年12月21日～2023年12月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	2	0.010	
期中の平均基準価額は、15,540円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年12月21日～2023年12月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル 2,120	千米ドル 12,046
	カナダ	社債券（投資法人債券を含む）	千カナダドル 1,902	千カナダドル 1,917
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	オランダ	社債券（投資法人債券を含む）	4,052	3,444
	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	4,520	4,559
	オーストラリア	社債券（投資法人債券を含む）	千豪ドル 6,067	千豪ドル 5,964

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年12月21日～2023年12月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 23,510	千米ドル 22,056	千円 3,176,782	% 39.7	% —	% 27.4	% 12.3	% —
カナダ	千カナダドル 6,300	千カナダドル 6,159	664,831	8.3	—	—	2.6	5.8
イギリス	千英ポンド 5,000	千英ポンド 4,484	821,830	10.3	—	—	10.3	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	4,000	4,068	643,120	8.0	—	—	8.0	—
アメリカ	11,800	11,214	1,772,611	22.1	—	9.2	12.9	—
オーストラリア	千豪ドル 6,100	千豪ドル 6,048	588,318	7.3	—	—	7.3	—
合 計	—	—	7,667,494	95.8	—	36.6	53.4	5.8

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 額面金額	期 評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
							千米ドル
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR CORP	2.76	3,000	2,784	401,012	2029/7/2
		TOYOTA MOTOR CORP	5.123	1,400	1,490	214,670	2033/7/13
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.05	3,600	3,437	495,083	2027/3/22
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	4.55	3,400	3,416	492,066	2027/9/20
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	4.45	1,110	1,110	159,898	2029/6/29
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	2.15	2,200	1,931	278,260	2030/2/13
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.375	5,400	5,060	728,833	2030/4/1
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	1.65	3,400	2,825	406,957	2031/1/10
小	計					3,176,782	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA CREDIT CANADA INC	2.73	4,400	4,266	460,519	2025/8/25
		TOYOTA CREDIT CANADA INC	4.33	1,900	1,892	204,311	2028/1/24
小	計					664,831	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	0.75	5,000	4,484	821,830	2026/11/19
小	計					821,830	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
	オランダ 普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR FINANCE BV	3.5	4,000	4,068	643,120	2028/1/13
	アメリカ 普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	0.125	7,300	6,534	1,032,871	2027/11/5
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.85	4,500	4,679	739,739	2030/7/24
小	計					2,415,731	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA FINANCE AUSTRALIA	4.45	6,100	6,048	588,318	2026/4/6
小	計					588,318	
合	計					7,667,494	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年12月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 7,667,494	% 94.8
コール・ローン等、その他	424,574	5.2
投資信託財産総額	8,092,068	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(7,795,844千円)の投資信託財産総額(8,092,068千円)に対する比率は96.3%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=144.03円、1カナダドル=107.94円、1英ポンド=183.28円、1ユーロ=158.07円、1豪ドル=97.26円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,106,992,540
コール・ローン等	171,949,637
公社債(評価額)	7,667,494,030
未収入金	5,187,092,003
未収利息	69,375,554
前払費用	11,081,316
(B) 負債	5,101,755,135
未払金	5,099,855,097
未払解約金	1,900,000
未払利息	38
(C) 純資産総額(A-B)	8,005,237,405
元本	4,749,373,173
次期繰越損益金	3,255,864,232
(D) 受益権総口数	4,749,373,173口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,855円

(注) 期首元本額は5,717,666,239円、期中追加設定元本額は410,859,285円、期中一部解約元本額は1,379,152,351円、1口当たり純資産額は1,6855円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・(トヨタ モーター クレジット) トヨタグループ世界債券ファンド(年2回分配型)
4,159,452,335円
・(トヨタ モーター クレジット) トヨタグループ世界債券ファンド(毎月分配型)
589,920,838円

○損益の状況 (2022年12月21日～2023年12月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	203,888,302
受取利息	203,924,198
その他収益金	14,314
支払利息	△ 50,210
(B) 有価証券売買損益	890,903,163
売買益	1,777,958,759
売買損	△ 887,055,596
(C) 保管費用等	△ 782,074
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,094,009,391
(E) 前期繰越損益金	2,667,361,775
(F) 追加信託差損益金	234,540,715
(G) 解約差損益金	△ 740,047,649
(H) 計(D+E+F+G)	3,255,864,232
次期繰越損益金(H)	3,255,864,232

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。